

火の魂の仲間たち、いつも本当にありがとう。

6月の梅雨も明け日差しが強くなり暑い夏がやってきました。

夏は多くの家族連れのお客様が来ると思うのでみんなで力を合わせて、お腹も心も満たせるような店を作っていこう。

今日は、ライフプラン人生の四季というものを社長の手紙として書いていこうと思う。人生の四季それは自分の人生を90才まで生きると考え、春夏秋冬に置き換え人生を4分割しライフプランを立てることです。

■春（始まりの春）0～20才、この時期は親の管理下
学業がメインで守る人もいない、自分のために生きることが多い

■夏（活動の夏）20～40才、将来を決める

仕事・結婚・子供・住む場所など将来が決まる一番大切な時期

この時期が永遠に続くと思えば遊ぶ人、必ずやってくる厳しい冬に向けて、社会で努力を惜しまない人と2つに分かれてしまいます。

■秋（収穫の秋）40～60才、夏の時期に頑張った事が、秋に返ってくる。
夏の頑張りが収穫として最高の秋にできる人とそうでない人と分かれる。

■冬（暖かい冬 or 厳しい冬）60～90才、人生最後の時期

【暖かい冬】お金と時間・家族のある人生を送る。

年金だけでなく十分に生活できる蓄えがあり余裕がある状態。

【厳しい冬】1人で生活し、年金も貰えない。身寄りがいない。

社会的弱者になっている。

重要なのは20代～40代をどう生きたかで、寒い冬が【温かい冬】になるか、【厳しい冬】になるかわ変わってきます。

現実な話ですが、日本は少子高齢化が益々進み人口が増えない以上、社会全体の企業の景気が良くなることは難しいです。

今までにない厳しい冬が必ず訪れると決まっているならば、その冬に向けて夏である20～40才でしっかりと社会的に責任のある仕事を身につけることが大切です。

誰でも良い仕事はAIやロボットで良くなる時代が来ます。

誰でも良い仕事するのではなく、自分でなければならぬ仕事をしていこう。

貴方の代わりはいくらでもいる、ではなく「貴方に託したい頼むぞ！」そんな仕事が出来ようになることが、寒い冬を【温かい冬】にするのです。

経営者の私の感覚ですが、8割の人が厳しい冬を迎えていると思います。

今から私と共に暖かい冬を迎えられるように頑張ろう！